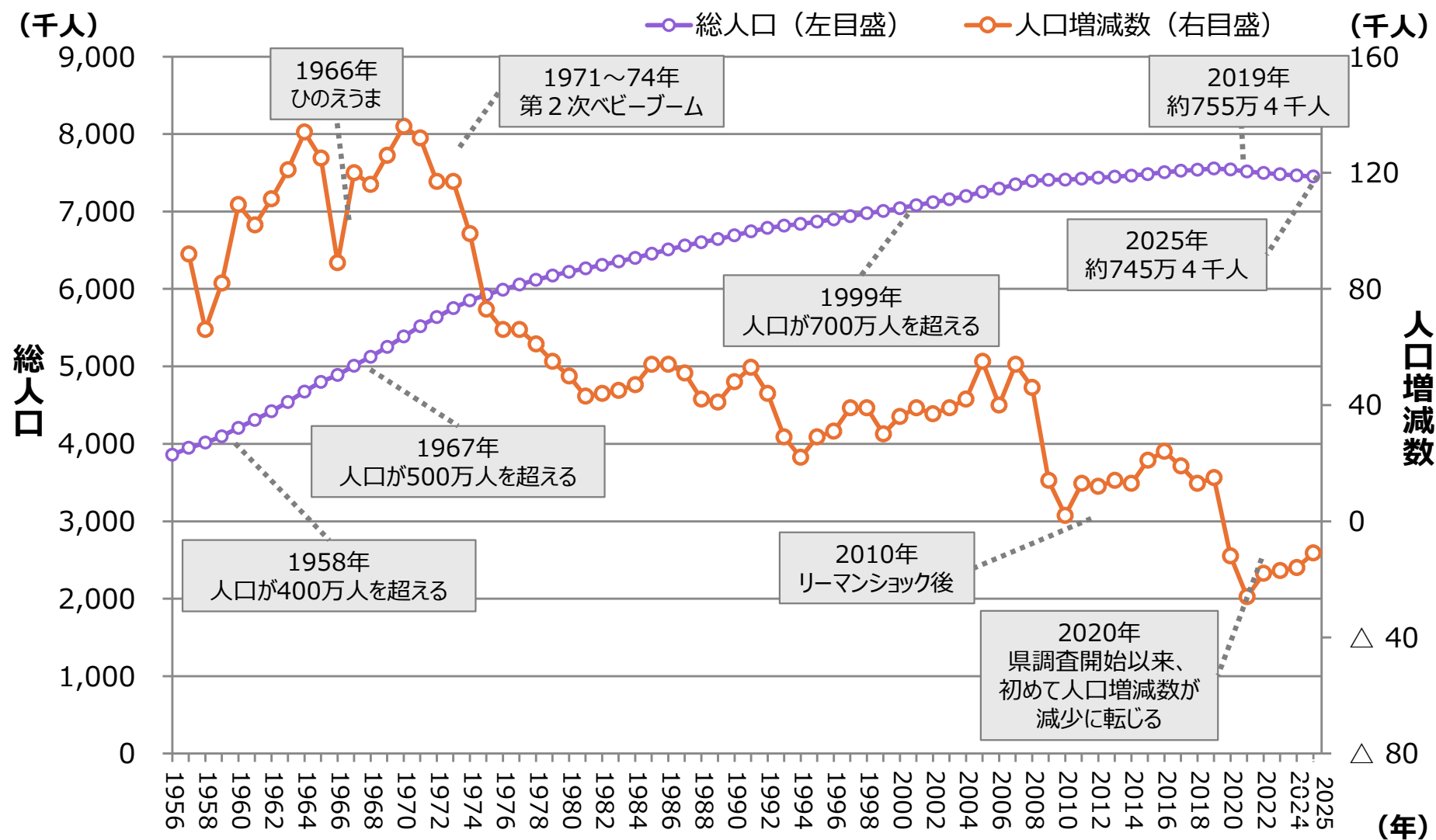


愛知県の人口動向について

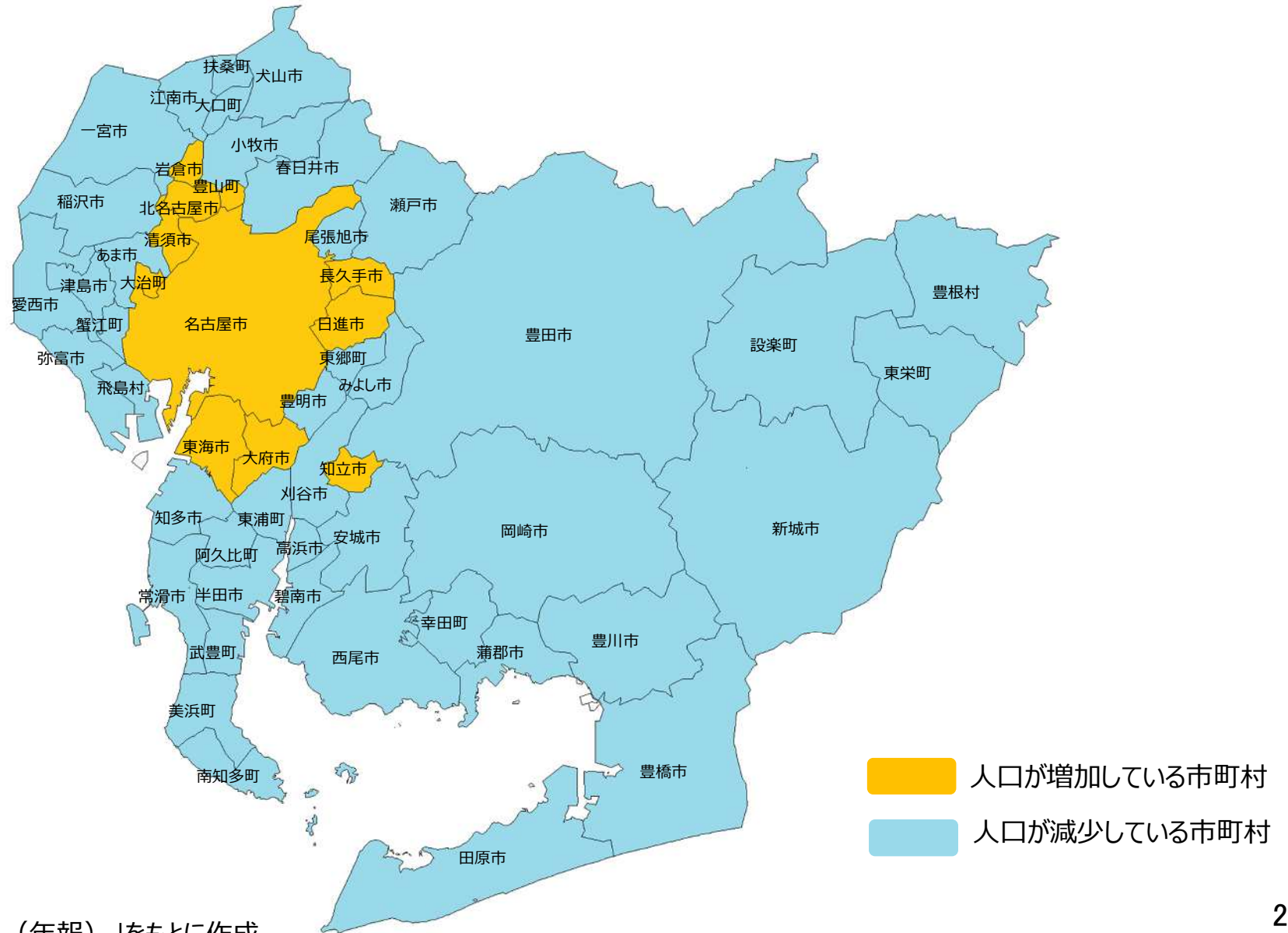
愛知県の総人口・人口増減数の推移

- 愛知県の人口は、2019年の約755万4千人をピークに6年連続の減少となり、2025年10月1日時点で約745万4千人。



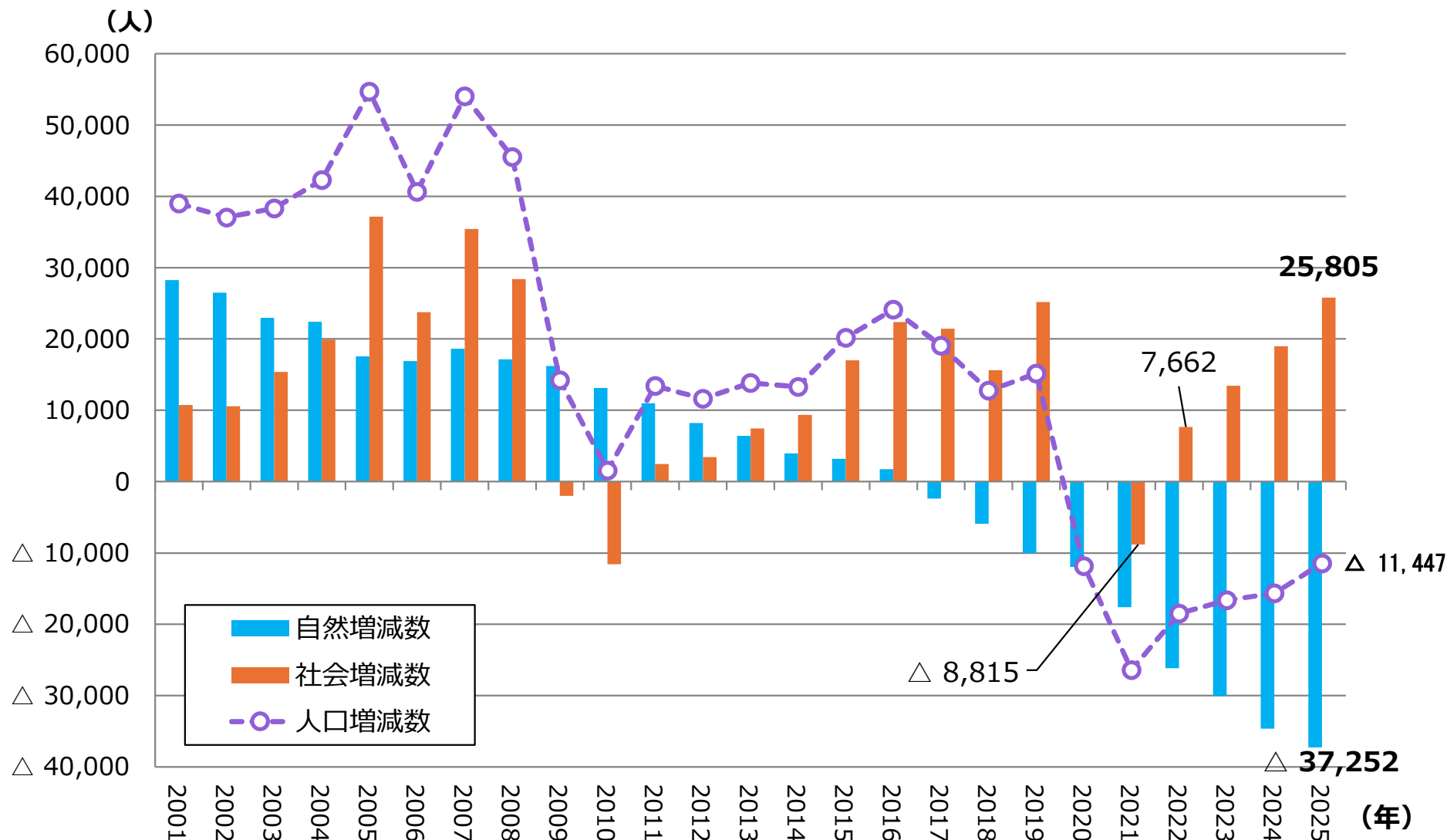
市町村別人口

- 2024年10月～2025年9月の人口増減数を県内の市町村別に見ると、県内54市町村のうち、11市町で増加した一方、43市町村で減少しており、人口減少地域は県内全域に広がっている。



自然増減・社会増減別の人口増減数の推移

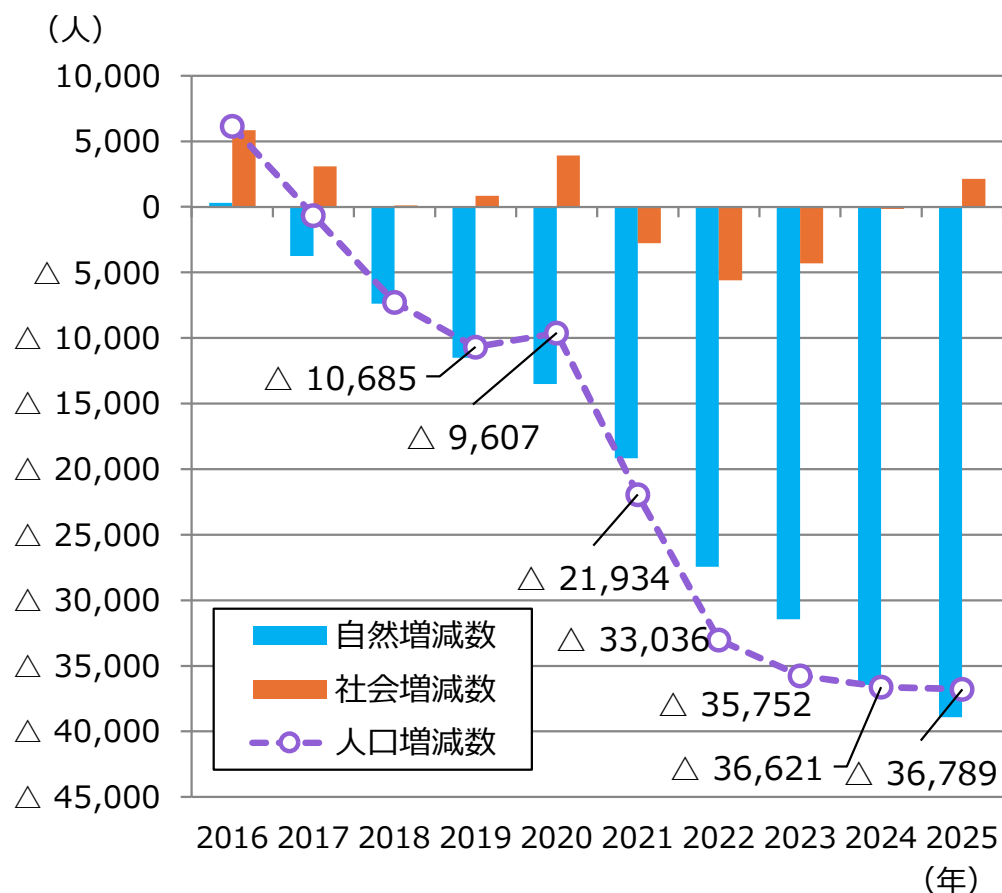
- 自然増減数は、2017年に減少に転じて以降、減少幅が拡大しており、2025年は37,252人の減少。
- 一方、社会増減数は、経済環境や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2021年は11年ぶりに減少となったが、2022年から増加に転じ、2025年は25,805人の増加となった。



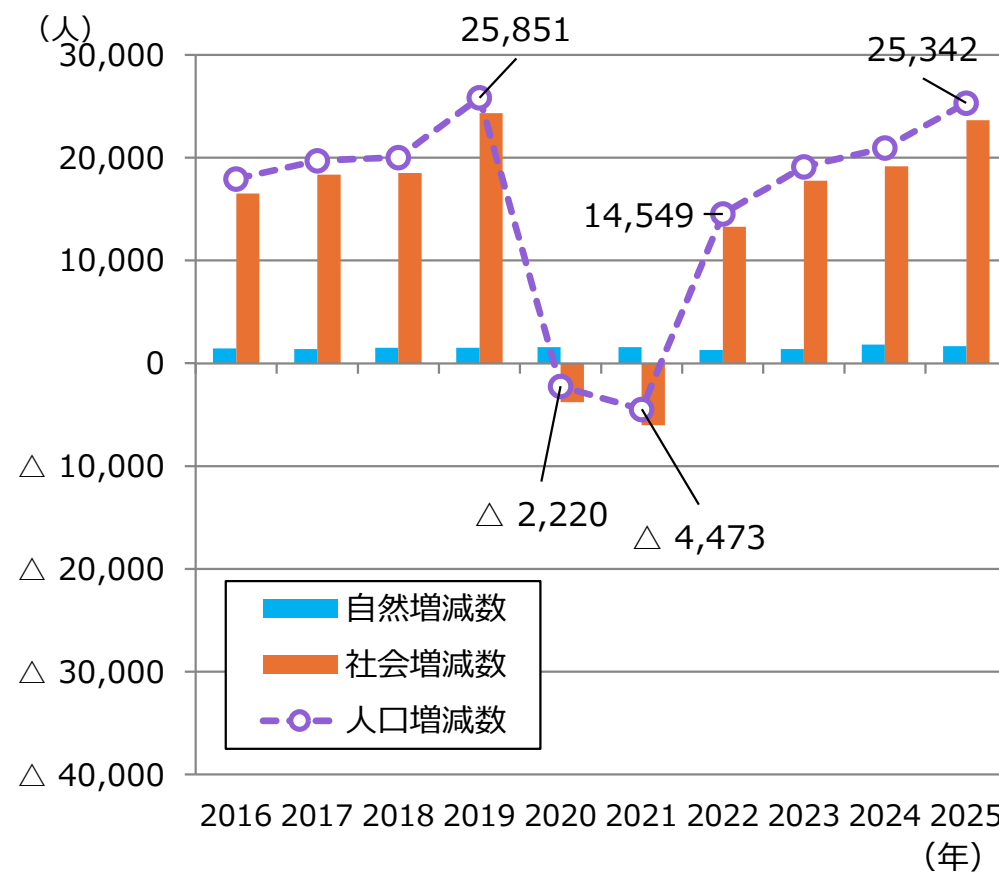
日本人・外国人別の人口増減数の推移

- 県内の日本人人口は、自然減の拡大に伴い、減少幅が拡大している。
- 外国人人口は、2019年は年2万人を超える増加であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制等により、2020年及び2021年は減少となった。入国規制の緩和等に伴い、2022年に再び増加に転じ、2025年は25,342人の増加となった。

日本人人口

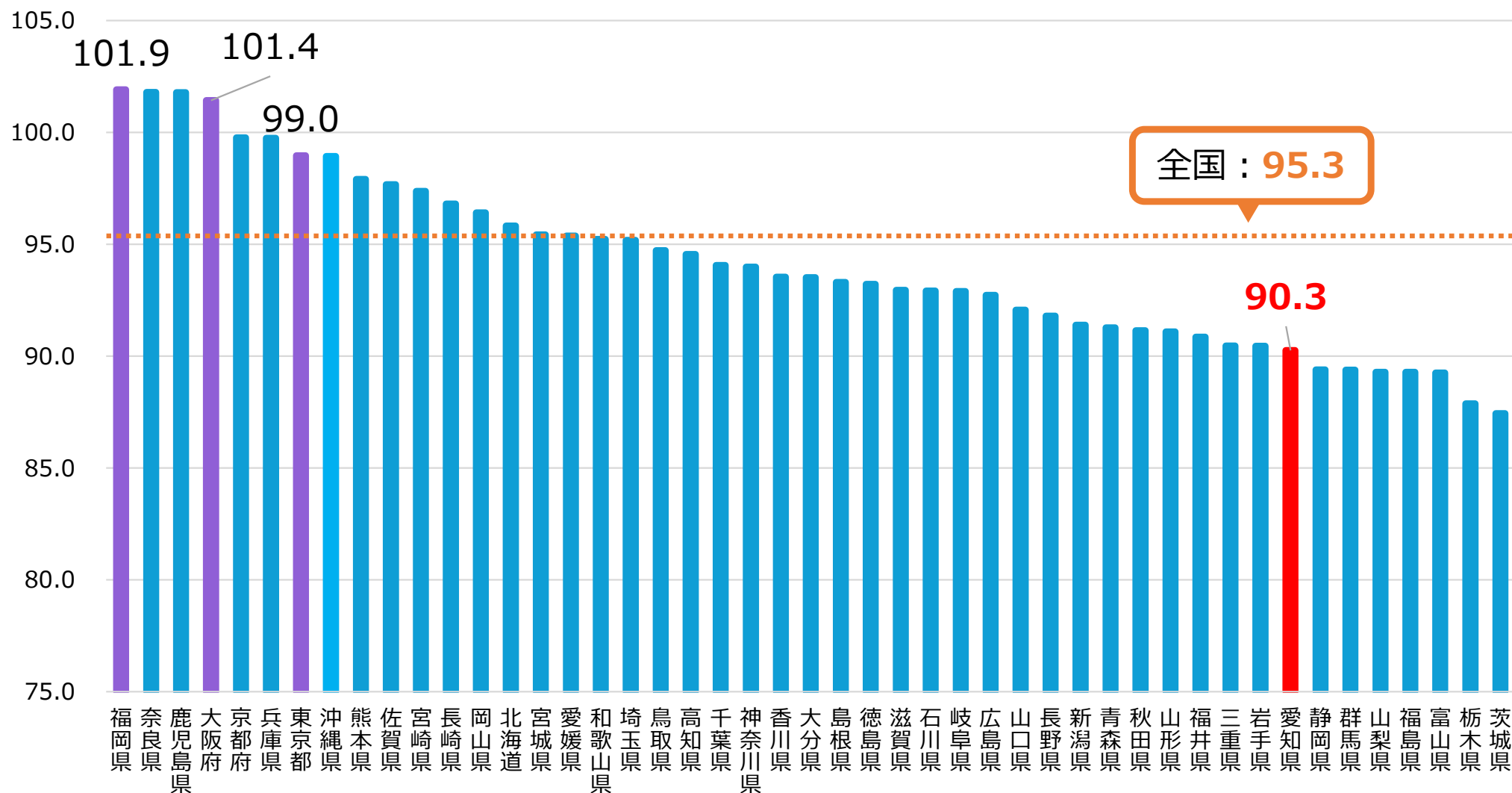


外国人人口



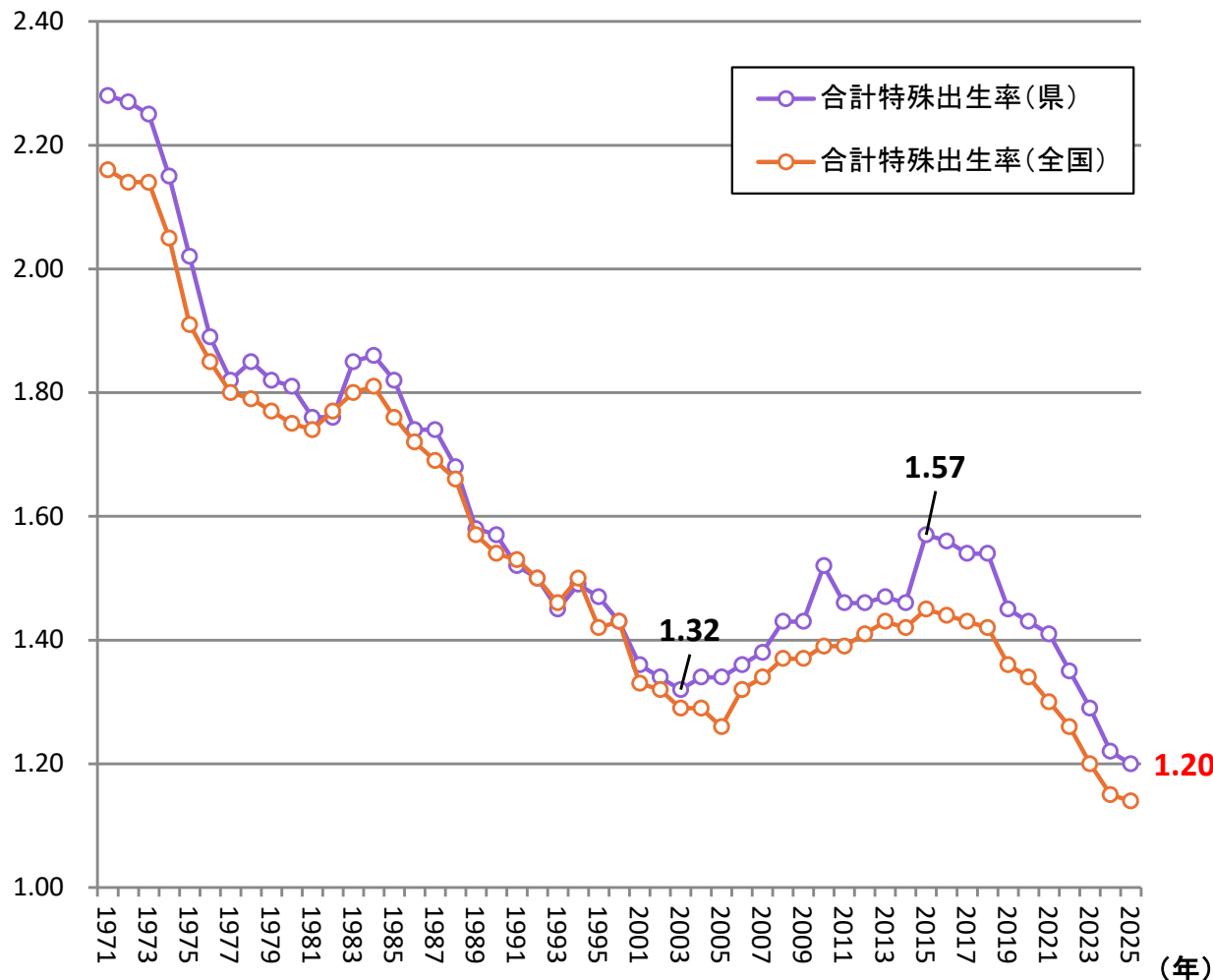
人口の男女比

- 2025年1月1日時点での20～39歳の男性100人に対する同世代の女性数は90.3人となっており、全国平均の95.3人と比べて低く、都道府県別では8番目に低い。



合計特殊出生率の推移

- 愛知県の合計特殊出生率は、2003年の1.32を底に緩やかな上昇傾向が続いていたが、2015年を境に低下傾向となり、2025年は1.20と、過去最低値となっている。
- 都道府県別では、高い方から29番目で、大都市圏の中では高い水準となっている。



【都道府県別合計特殊出生率】

順位	都道府県名	合計特殊出生率
1	沖縄	1.52
2	宮崎	1.46
3	福井	1.45
4	長崎県	1.42
5	島根県	1.41
6	香川県	1.40
6	熊本県	1.40
8	鳥取県	1.38
8	佐賀県	1.38
8	鹿児島県	1.38
11	滋賀県	1.34
12	徳島県	1.33

29	愛知県	1.20
----	-----	------

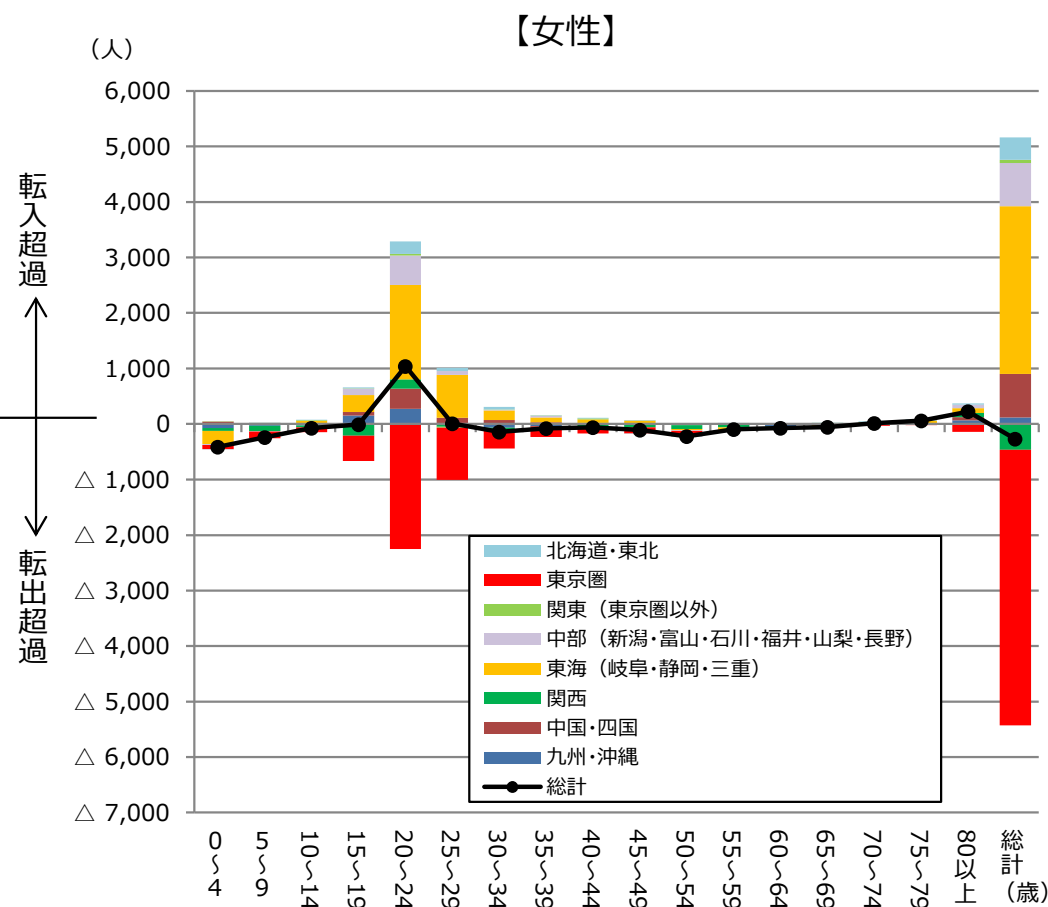
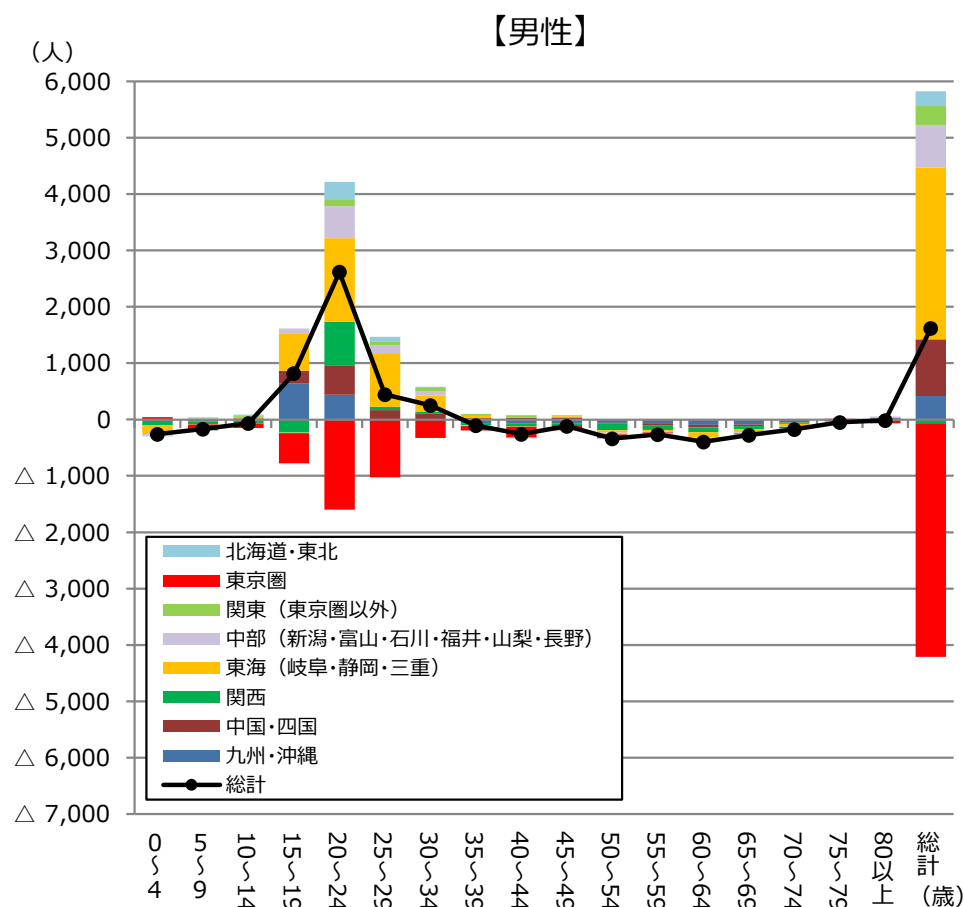
36	新潟県	1.13
36	大阪府	1.13
38	岩手県	1.12
39	青森県	1.10
40	千葉県	1.07
41	埼玉県	1.06
42	秋田県	1.05
42	神奈川県	1.05
44	京都府	1.03
45	北海道	1.00
45	宮城県	1.00
47	東京都	0.96

全国	1.14
----	------

男女別・年齢別転出入超過数（国内移動）

- 男性は、15～24歳で東海、中国・四国、九州・沖縄などを中心に転入超過となっているが、東京圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）に対しては、20～29歳で転出超過が大きくなっている。
- 女性は、東京圏に対しては、大学卒業後の就職時に当たる20～24歳における転出超過が、男性よりも大きくなっている。

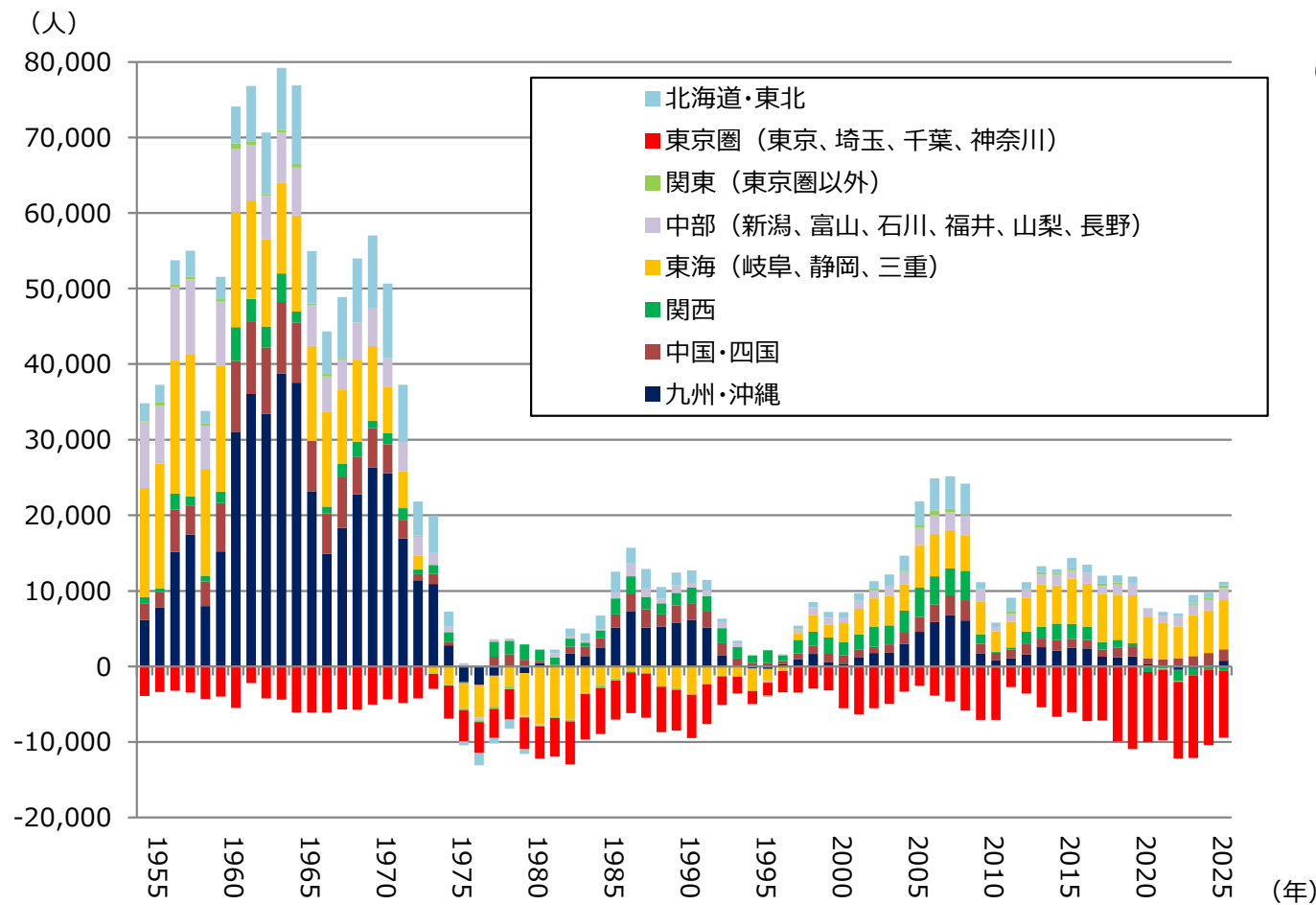
愛知県の男女別・年齢階級別の人口移動状況（2025年）



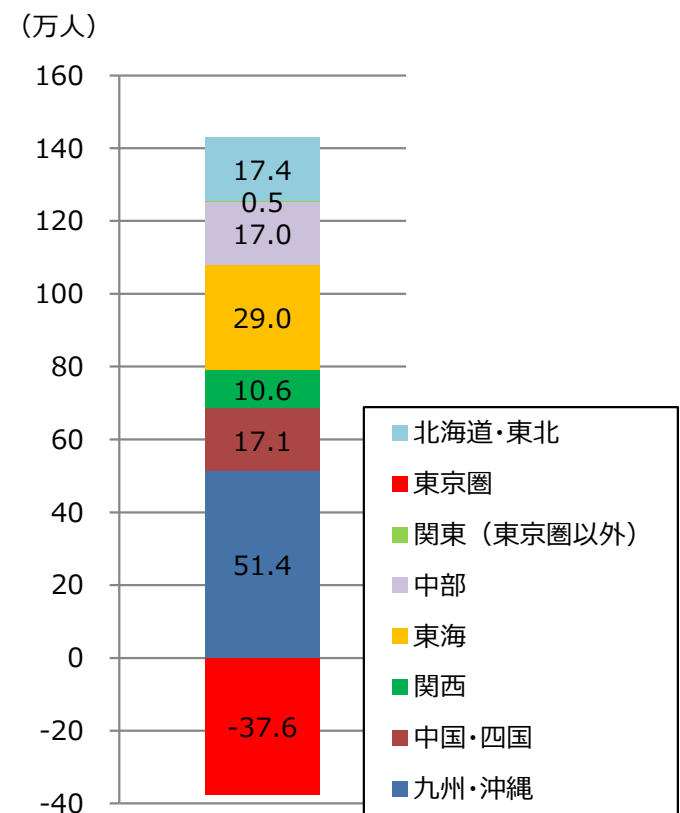
転出入超過数の推移

- 近年では、東京圏に対し、毎年 1 万人程度の転出超過が続いているほか、関西に対しても転出超過の傾向にある。

■ 本県と全国地域ブロック別の転出入の推移



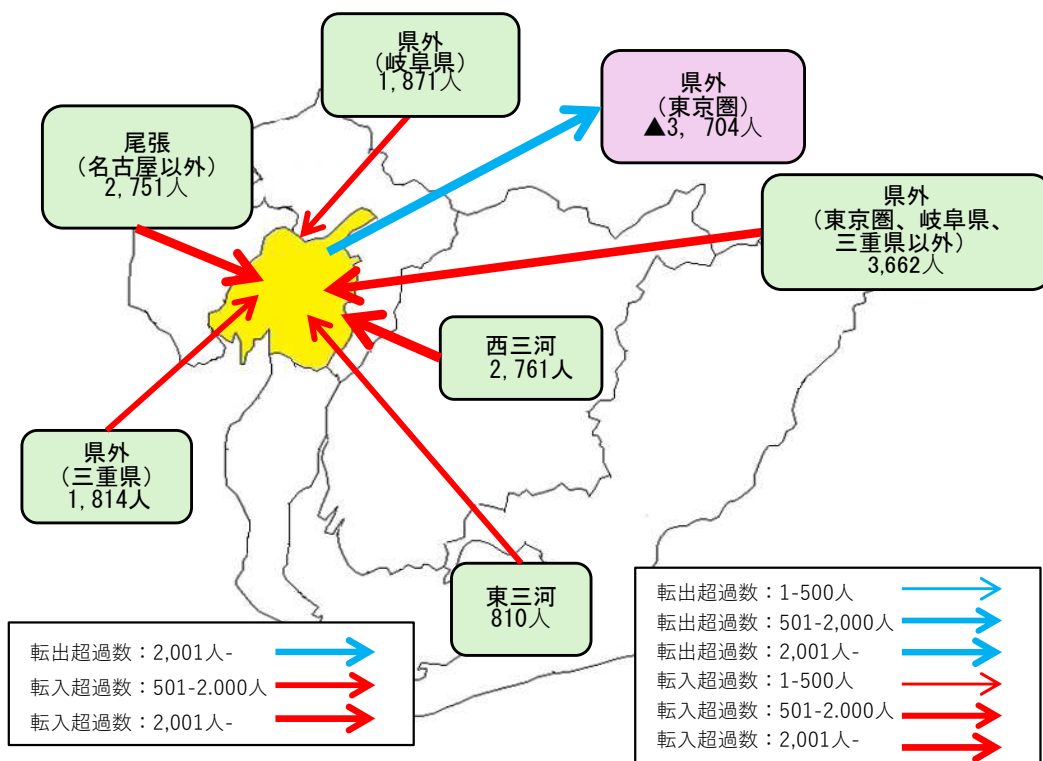
■ 転入超過数累計 (1954年～2025年)



地区別の転出入の状況①(名古屋)

- 名古屋地域の転出入は、9,965人の転入超過となっている。東京圏を除き、県内外全ての地域に対して転入超過となっている。
- 男女ともに、20～24歳の若者層を中心に転入超過となっている。

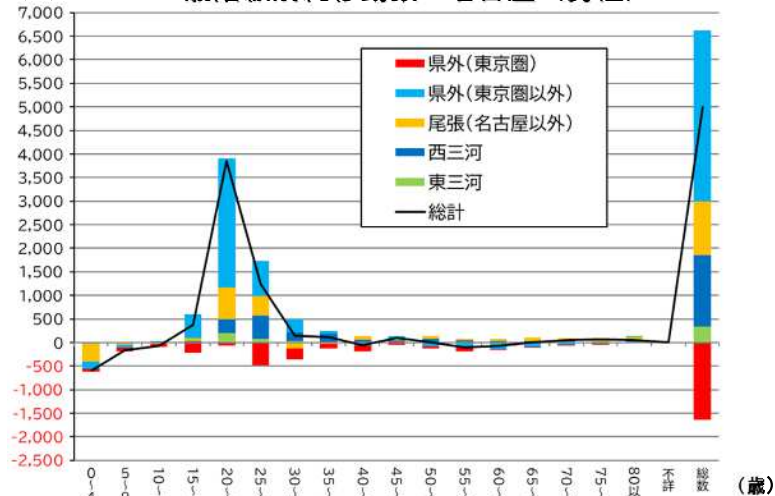
名古屋地域における転出入の状況（2025年）



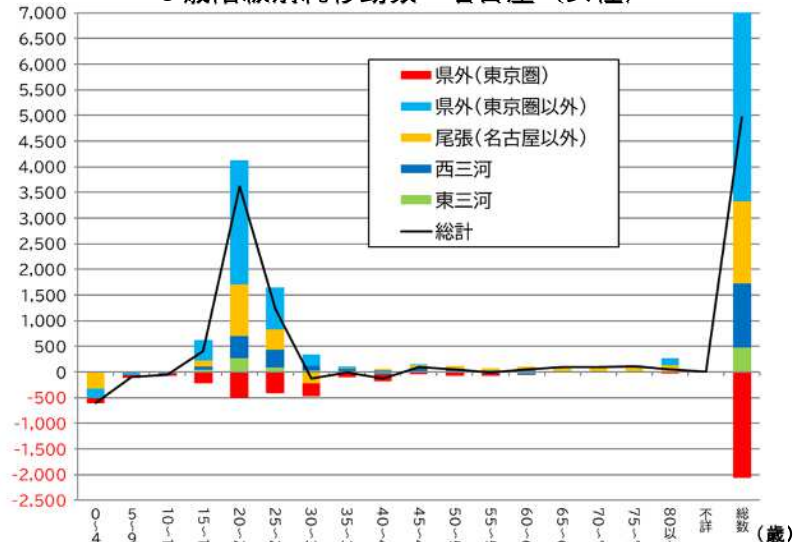
(单位：人)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
転入超過数(県内)	3,666	3,577	4,955	6,549	6,322
転入超過数(県外)	674	519	1,753	2,667	3,643
転入超過数(うち東京圏)	△ 4,111	△ 4,352	△ 4,869	△ 4,401	△ 3,704
転入超過数(総計)	4,340	4,096	6,708	9,216	9,965

(人) 5歳階級別純移動数 名古屋(男性)



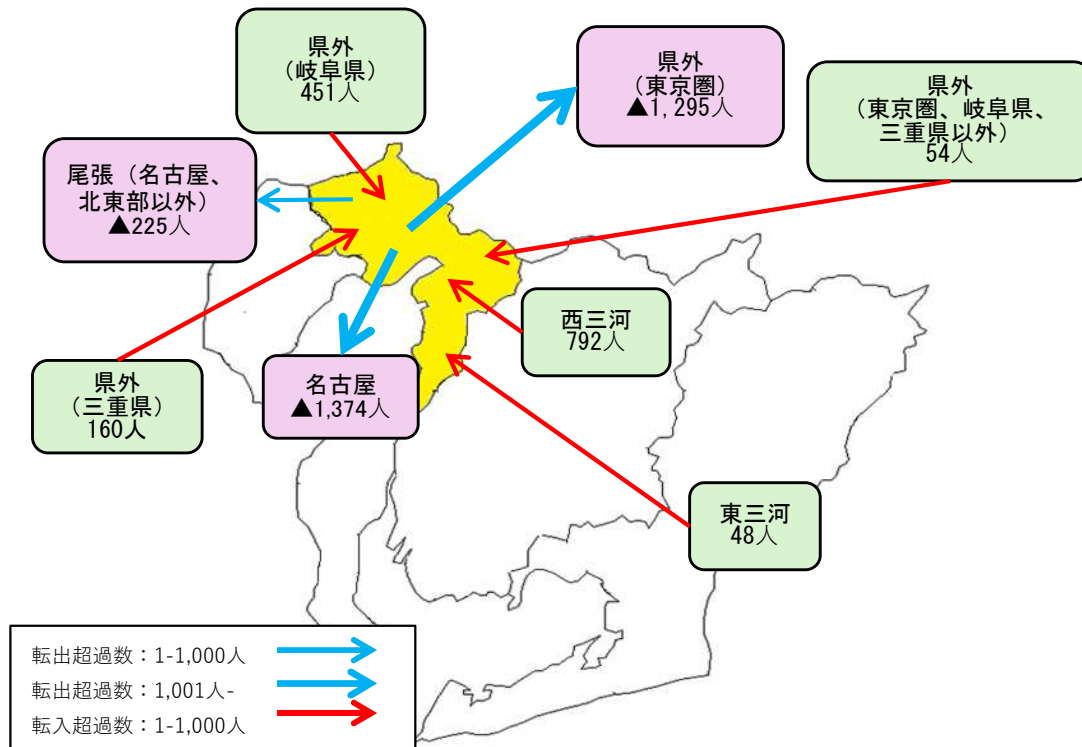
(人) 5歳階級別純移動数 名古屋(女性)



地区別の転出入の状況②(尾張北東部)

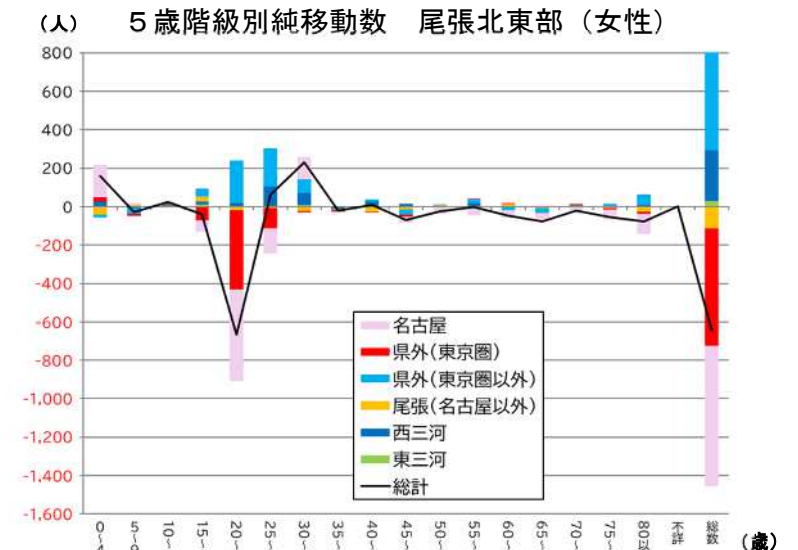
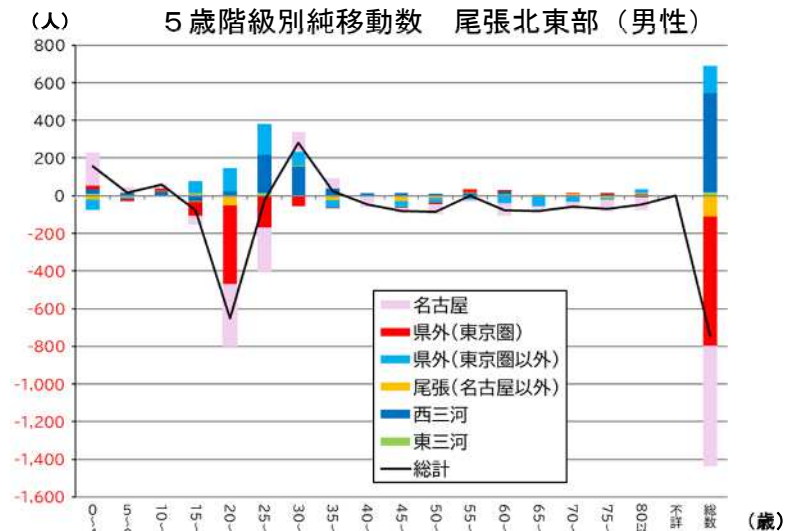
- 尾張北東部地域の転出入は、1,389人の転出超過となっている。
東京圏や名古屋市等に対して転出超過となっている。
- 男女ともに、20～29歳を中心に転出超過となっている。

尾張北東部地域における転出入の状況（2025年）



(単位：人)

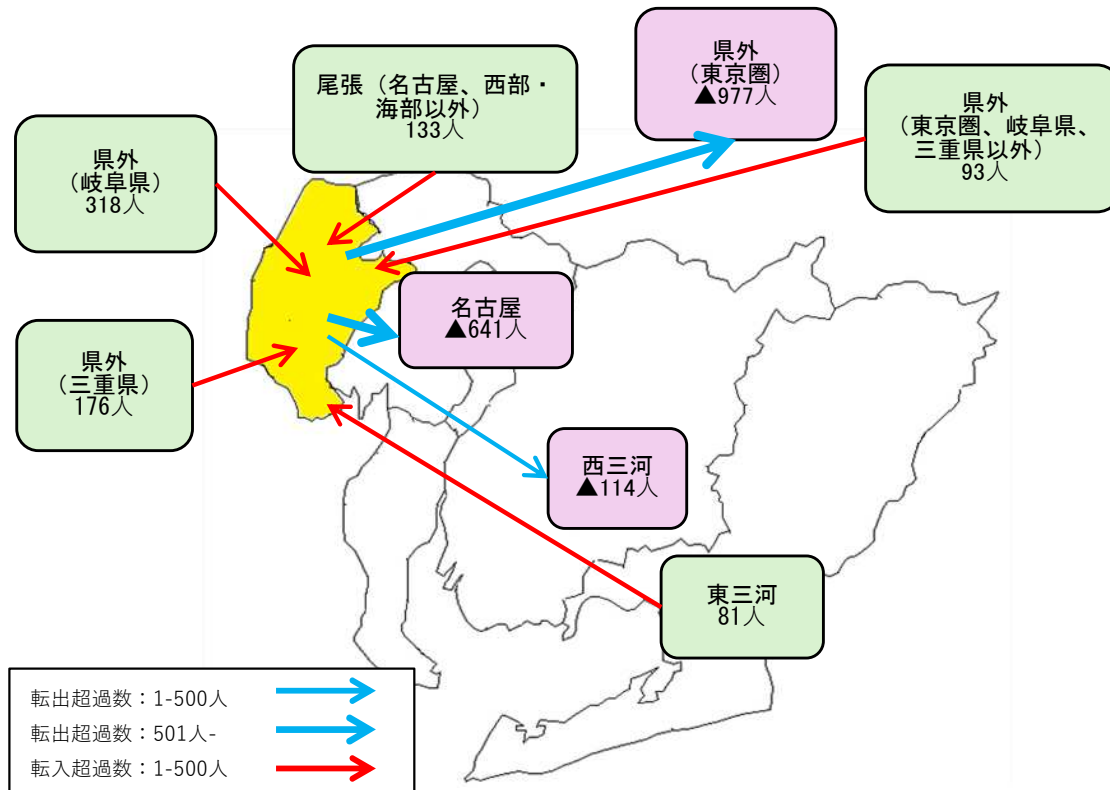
	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
転入超過数(県内)	1,180	△ 43	△ 277	△ 987	△ 759
転入超過数(県外)	△ 1,193	△ 1,723	△ 1,462	△ 1,170	△ 630
転入超過数(うち東京圏)	△ 1,352	△ 1,603	△ 1,558	△ 1,521	△ 1,295
転入超過数(総計)	△ 13	△ 1,766	△ 1,739	△ 2,157	△ 1,389



地区別の転出入の状況③(尾張西部・海部)

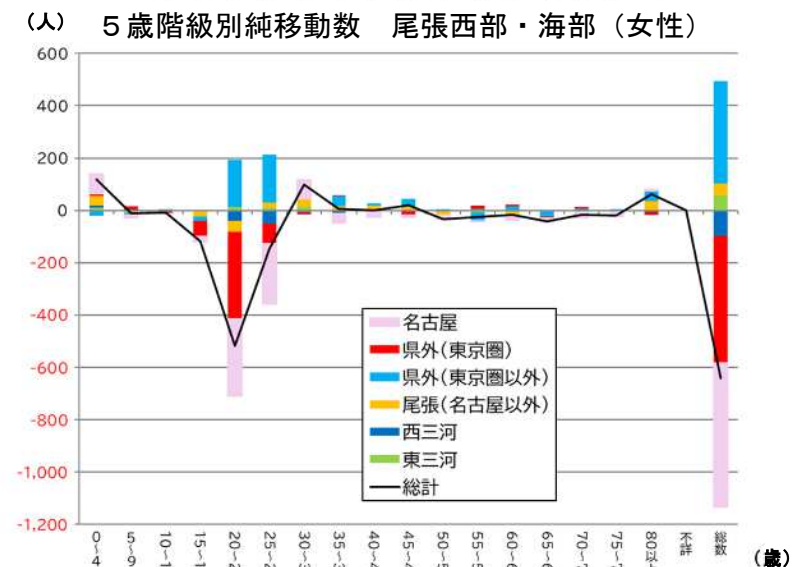
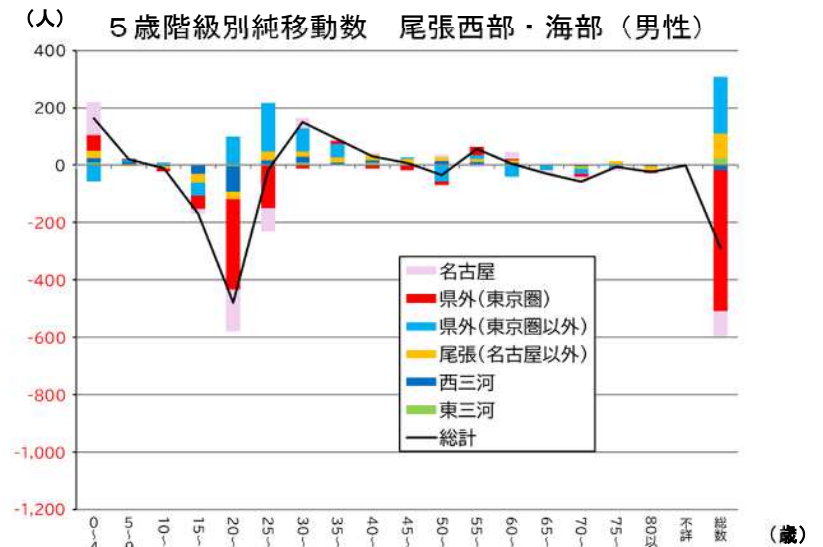
- 尾張西部・海部地域の転出入は、931人の転出超過となっている。岐阜県・三重県や尾張（名古屋、西部・海部以外）といった周辺地域に対して転入超過となっている。
- 男女ともに15～29歳を中心に転出超過となっている。

尾張西部・海部地域における転出入の状況（2025年）



（単位：人）

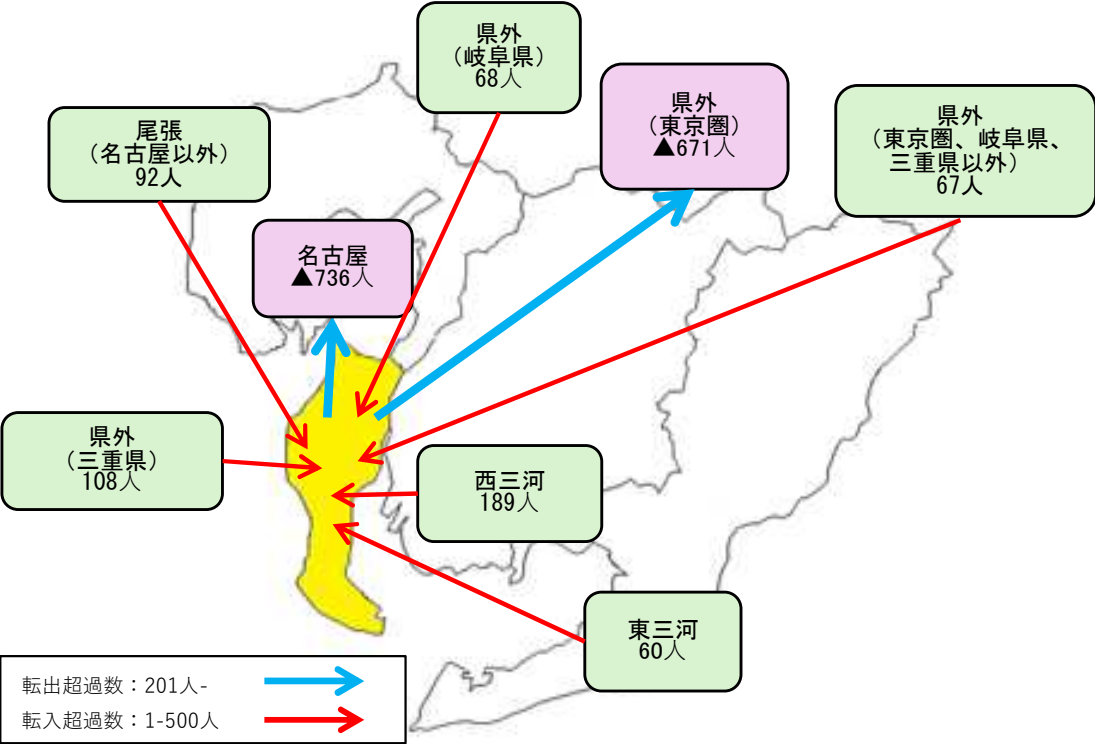
	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
転入超過数(県内)	△ 133	290	△ 424	△ 545	△ 541
転入超過数(県外)	△ 860	△ 1,113	△ 998	△ 937	△ 390
転入超過数(うち東京圏)	△ 1,022	△ 1,109	△ 1,183	△ 1,182	△ 977
転入超過数(総計)	△ 993	△ 823	△ 1,422	△ 1,482	△ 931



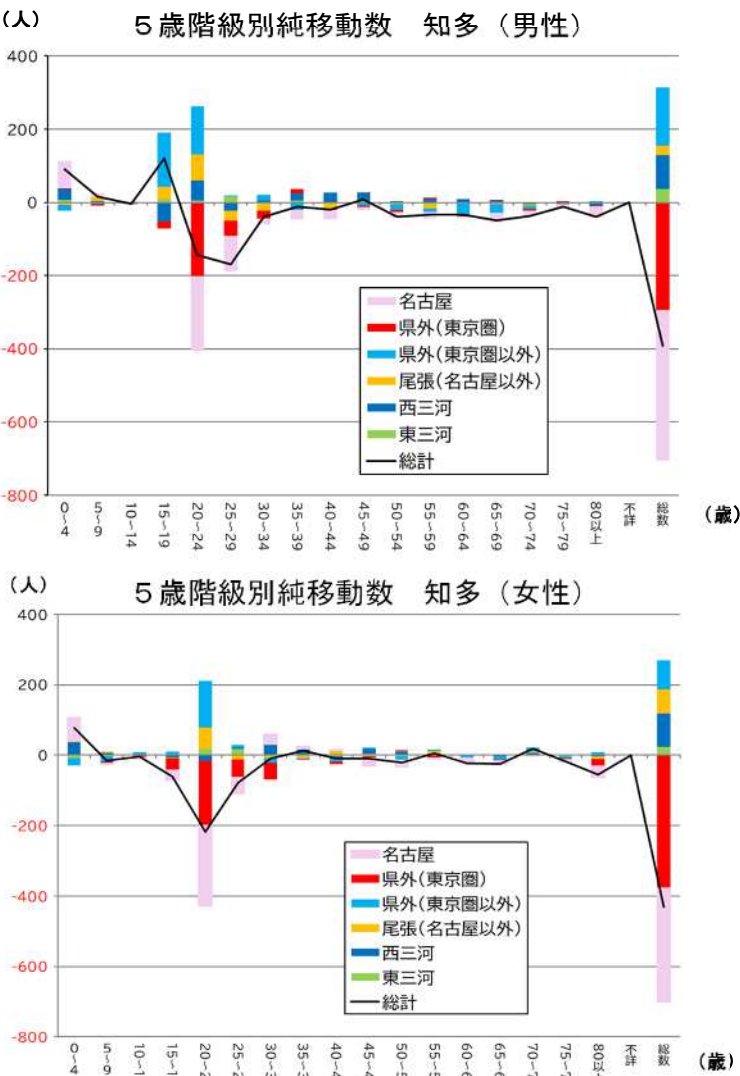
地区別の転出入の状況④(知多)

- 知多地域の転出入は、823人の転出超過となっている。名古屋市や東京圏を除く県内外に対しては転入超過となっている。
- 男性は15～19歳が転入超過となっている一方、男女ともに20～29歳を中心に転出超過傾向となっている。

知多地域における転出入の状況（2025年）



	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
転入超過数(県内)	△ 966	△ 547	△ 267	△ 528	△ 395
転入超過数(県外)	△ 760	△ 673	△ 448	△ 280	△ 428
転入超過数(うち東京圏)	△ 602	△ 635	△ 576	△ 606	△ 671
転入超過数(総計)	△ 1,726	△ 1,220	△ 715	△ 808	△ 823

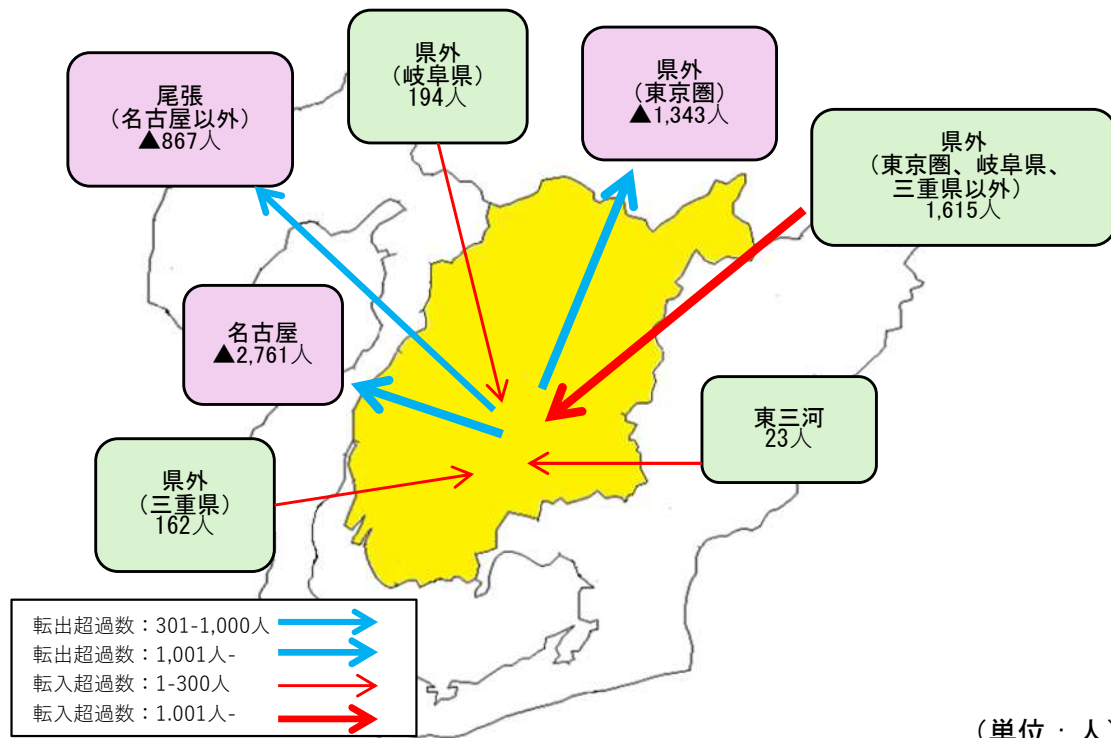


出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成 ※2025年 1 月 1 日から12月31日までの移動の計、日本人のみ

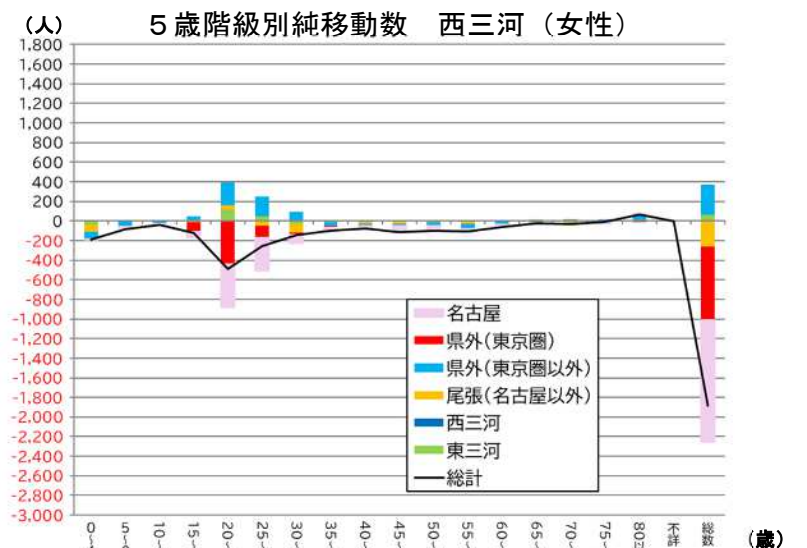
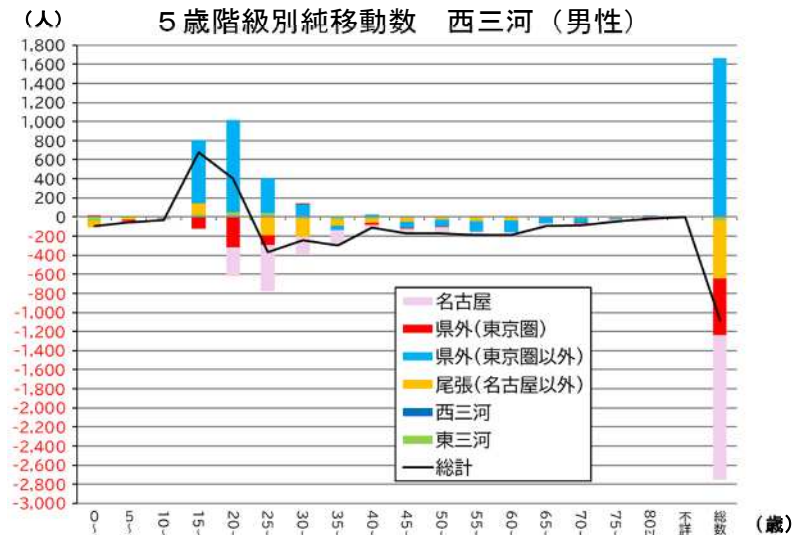
地区別の転出入の状況⑤(西三河)

- 西三河地域の転出入は、2,977人の転出超過となっている。東京圏を除く県外及び東三河に対して転入超過、名古屋、尾張及び東京圏に対しては転出超過となっている。
- 男性は15～24歳は転入超過の一方、25～79歳は転出超過となっている。女性は80歳以上の高齢者を除き、転出超過となっている。

西三河地域における転出入の状況（2025年）



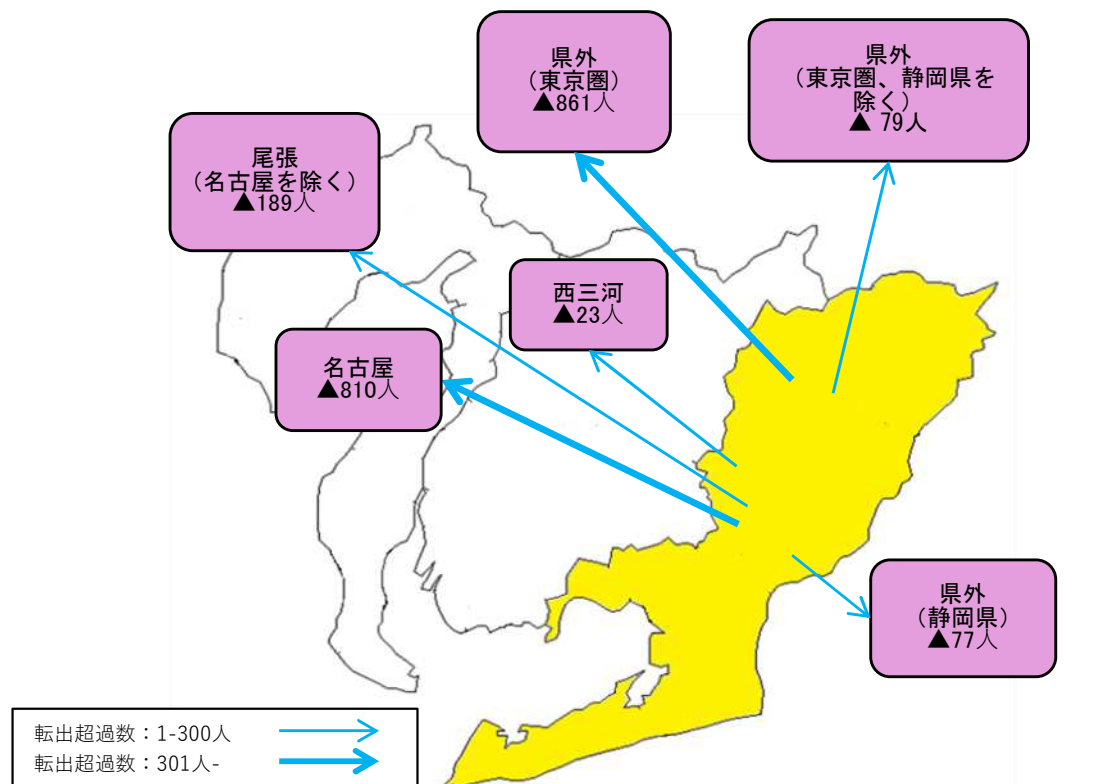
	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
転入超過数(県内)	△ 3,497	△ 3,231	△ 3,231	△ 3,602	△ 3,605
転入超過数(県外)	164	△ 276	△ 276	△ 154	628
転入超過数(うち東京圏)	△ 1,533	△ 1,775	△ 1,775	△ 1,588	△ 1,343
転入超過数(総計)	△ 3,333	△ 3,507	△ 3,507	△ 3,756	△ 2,977



地区別の転出入の状況⑥(東三河)

- 東三河地域の転出入は、2,039人の転出超過となっている。名古屋市を含め尾張、西三河、県外に対して転出超過となっている。
- 男女ともに15～29歳を中心に転出超過となっている。

東三河地域における転出入の状況（2025年）



(単位：人)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
転入超過数(県内)	△ 250	△ 553	△ 756	△ 887	△ 1,022
転入超過数(県外)	△ 620	△ 1,244	△ 1,212	△ 734	△ 1,017
転入超過数(うち東京圏)	△ 734	△ 863	△ 959	△ 680	△ 861
転入超過数(総計)	△ 870	△ 1,797	△ 1,968	△ 1,621	△ 2,039

